



にしきの つうしん  
**錦乃通信**

Mamiya J.H.S School News

令和6年8月28日(水)

さいたま市立馬宮中学校

令和6年度 第5号

学校教育目標

未来を拓け ~自己の創造・生きる自信~

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ~Self Creation ・ Confidence to live~

## 「再始動」

校長 うえ だ やす まさ  
**上田泰正**

今年の夏は、酷暑やゲリラ雷雨など、異常気象が続きましたが、校庭や体育館等で部活動に汗を流している生徒や、コンクールや展覧会等に向けて意欲的に取り組んでいる生徒の姿を多く見る事ができました。

また、ソフトボール部、男子ソフトテニス部個人が埼玉県学校総合体育大会、吹奏楽部が埼玉県吹奏楽コンクールに出場しました。このほかに英語弁論・暗唱大会、さいたま市国際交流事業に参加し、学校ではできない様々な経験・体験をした生徒もいます。さらに校内では、今後の学校生活や進路に向けて全校三者面談も実施されました。

さて、学校だよりの7月号に記載しましたが、ほとんどの部活動が2年生を中心とする新体制に代わる転換期です。そして、2学期は、学校の中での役割や立場が変わる時期『再始動』の時であると考えます。

2学期は、生徒会役員選挙、新人体育大会、合唱コンクールなど、多くの行事が続きます。1・2年生は、3年生からこれまでの伝統を引き継ぎ、学校の要として生徒会活動・部活動の中心となって活躍する時期です。何事にも「自ら気付き、行動する」参加意識をもち取り組んでほしいと思います。1学期以上に充実した学校生活を送ることを願っています。

全国的に見ると、未だにいじめに関わる問題が新聞等で報道されています。学校としても、朝礼や学級指導等で「いじめは絶対に許されない」ことを生徒に繰り返し話をしています。また、8月2日(金)に「さいたま市ストップいじめ!子どもサミット」が開催され、さいたま市内小・中・高等・中等教育・特別支援学校の児童生徒代表、学校関係者・保護者・市民団体・地域団体等の方々が参加し、いじめ撲滅に向けた取組の発表等がありました。

今後も、様々な場面で「いじめは人としてやってはいけない恥ずかしい行いであること」「いじめられていると思ったら、必ず周りの人に相談しよう」等を分かりやすく、何度も生徒に伝えていきます。学校においても、生徒の変化を見逃すことがないように定期的にいじめに関するアンケートを実施するとともに、生徒のサインを適切にキャッチし、生徒の心に寄り添い、周りにいる我々大人が「絶対の守護神」となるよう全職員で取り組んで参ります。御家庭におかれましても、子どものサインをキャッチしていただき、顔の表情や行動等で何かおかしい面やお気付きの点がありましたら、早めに学校の担任等に相談していただきたいと思います。

最後に、保護者・地域の皆様方には、2学期も様々な機会に忌憚ない御意見を賜りますとともに、一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。